

(1) 普通会計の状況（市町村）

歳入の状況（単位 千円・％）					地方税の状況（単位 千円・％）			
区分	決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	区分	収入済額	構成比	超過課税分
地方税	3,341,963	36.5	3,341,963	58.6	普通税	3,341,963	100.0	-
地方譲与税	82,013	0.9	82,013	1.4	法定普通税	3,341,963	100.0	-
利子割交付金	1,287	0.0	1,287	0.0	市町村民税	1,205,010	36.1	-
配当割交付金	23,576	0.3	23,576	0.4	個人均等割	34,127	1.0	-
株式等譲渡所得割交付金	25,110	0.3	25,110	0.4	所得割	895,469	26.8	-
分離課税所得割交付金	-	-	-	-	法人均等割	90,753	2.7	-
地方消費税交付金	503,609	5.5	503,609	8.8	法人税割	184,661	5.5	-
ゴルフ場利用税交付金	13,618	0.1	13,618	0.2	固定資産税	1,905,214	57.0	-
特別地方消費税交付金	-	-	-	-	うち純固定資産税	1,904,444	57.0	-
自動車取得税交付金	815	0.0	815	0.0	軽自動車税	74,470	2.2	-
軽油引取税交付金	-	-	-	-	市町村たばこ税	157,269	4.7	-
自動車税環境性能割交付金	14,830	0.2	14,830	0.3	釐産税	-	-	-
法人事業税交付金	67,357	0.7	67,357	1.2	特別土地保有税	-	-	-
地方特例交付金等	50,433	0.6	50,433	0.9	法定外普通税	-	-	-
地方特例交付金	20,634	0.2	20,634	0.4	目的税	-	-	-
新型コロナウイルス感染症対策地方税減収補填特別交付金	29,799	0.3	29,799	0.5	法定目的税	-	-	-
地方交付税	1,687,005	18.4	1,547,901	27.1	入湯税	-	-	-
普通交付税	1,547,901	16.9	1,547,901	27.1	事業所税	-	-	-
特別交付税	139,104	1.5	-	-	都市計画税	-	-	-
震災復興特別交付税	-	-	-	-	水利地益税等	-	-	-
（一般財源計）	5,811,616	63.5	5,672,512	99.4	法定外目的税	-	-	-
交通安全対策特別交付金	2,389	0.0	2,389	0.0	旧法による税	-	-	-
分担金・負担金	124,017	1.4	2,751	0.0	合計	3,341,963	100.0	-
使用料	104,019	1.1	22,407	0.4				
手数料	14,613	0.2	19	0.0				
国庫支出金	1,040,520	11.4	-	-				
国有提供交付金（特別区財調交付金）	-	-	-	-				
都道府県支出金	580,424	6.3	-	-				
財産収入	9,501	0.1	6,380	0.1				
寄附金	102,015	1.1	-	-				
繰入金	375,792	4.1	-	-				
繰越金	179,884	2.0	-	-				
諸収入	231,575	2.5	270	0.0				
地方債	574,480	6.3	-	-				
うち減収補填債（特例分）	-	-	-	-				
うち臨時財政対策債	57,080	0.6	-	-				
歳入合計	9,150,845	100.0	5,706,728	100.0				

（注釈）

普通建設事業費の補助事業費には受託事業費のうちの補助事業費を含み、
単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。

歳出の状況（単位 千円・％）				
目的別歳出の状況（単位 千円・％）				
区分	決算額（A）	構成比	(A)のうち普通建設事業費	(A)のうち充当一般財源等
議会費	113,736	1.3	1,302	113,736
総務費	1,079,704	12.0	30,016	867,347
民生費	2,782,534	30.8	5,398	1,713,559
衛生費	842,005	9.3	1,281	719,007
労働費	13,606	0.2	-	5,605
農林水産業費	455,941	5.1	97,323	295,714
商工費	201,949	2.2	4,523	124,320
土木費	869,350	9.6	397,980	512,628
消防費	349,074	3.9	34,082	303,262
教育費	1,232,617	13.7	315,665	742,603
災害復旧費	-	-	-	-
公債費	1,079,064	12.0	-	1,072,301
諸支出金	-	-	-	-
前年度繰上充用金	-	-	-	-
歳出合計	9,019,580	100.0	887,570	6,470,082

性質別歳出の状況（単位 千円・％）					
区分	決算額	構成比	充当一般財源等	経常経費充当一般財源等	経常収支比率
義務的経費計	4,079,637	45.2	3,083,256	2,876,027	49.9
人件費	1,676,066	18.6	1,471,100	1,432,203	24.8
うち職員給	897,393	9.9	763,199	-	-
扶助費	1,324,507	14.7	539,855	371,523	6.4
公債費	1,079,064	12.0	1,072,301	1,072,301	18.6
元利償還金	1,079,049	12.0	1,072,286	1,072,286	18.6
内 うち元金	1,049,127	11.6	1,042,364	1,042,364	18.1
訳 うち利子	29,922	0.3	29,922	29,922	0.5
一時借入金利子	15	0.0	15	15	0.0
その他の経費	4,052,373	44.9	3,213,505	2,672,948	46.4
物件費	1,345,345	14.9	990,892	743,265	12.9
維持補修費	51,850	0.6	36,181	31,533	0.5
補助費等	1,651,982	18.3	1,480,445	1,325,167	23.0
うち一部事務組合負担金	492,483	5.5	492,483	492,483	8.5
繰出金	716,562	7.9	597,262	572,983	9.9
積立金	128,234	1.4	35,725	-	-
投資・出資金・貸付金	158,400	1.8	73,000	-	-
前年度繰上充用金	-	-	-	-	-
投資的経費計	887,570	9.8	173,321	-	-
うち人件費	16,567	0.2	13,567	-	-
普通建設事業費	887,570	9.8	173,321	-	-
うち補助	413,792	4.6	46,477	-	-
うち単独	425,002	4.7	125,168	-	-
災害復旧事業費	-	-	-	-	-
失業対策事業費	-	-	-	-	-
歳出合計	9,019,580	100.0	6,470,082	-	-

(2)各会計、関係団体の財政状況及び健全化判断比率（市町村）

一般会計等の財政状況(単位:百万円)

会計名	歳入	歳出	形式収支	実質収支	他会計等からの繰入金	地方債現在高	備考
1 一般会計	9,151	9,020	131	105	-	10,302	
2 介護サービス会計	-	-	-	-	-	-	
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							
41							
42							
43							
44							
45							
46							
47							
48							
49							
50							
51							
52							
53							
54							
55							
56							
57							
58							
59							
60							
61							
62							
63							
64							
65							
66							
67							
68							
69							
70							
71							
72							
73							
74							
75							
76							
77							
78							
79							
80							
81							
82							
83							
84							
85							
86							
87							
88							
89							
90							
91							
92							
93							
94							
95							
96							
97							
98							
99							
100							
101							
102							
103							
104							
105							
106							
107							
108							
109							
110							
111							
112							
113							
114							
115							
116							
117							
118							
119							
120							
121							
122							
123							
124							
125							
126							
127							
128							
129							
130							
131							
132							
133							
134							
135							
136							
137							
138							
139							
140							
141							
142							
143							
144							
145							
146							
147							
148							
149							
150							
151							
152							
153							
154							
155							
156							
157							
158							
159							
160							
161							
162							
163							
164							
165							
166							
167							
168							
169							
170							
171							
172							
173							
174							
175							
176							
177							
178							
179							
180							
181							
182							
183							
184							
185							
186							
187							
188							
189							
190							
191							
192							
193							
194							
195							
196							
197							
198							
199							
200							
201							
202							
203							
204							
205							
206							
207							
208							
209							
210							
211							
212							
213							
214							
215							
216							
217							
218							
219							
220							
221							
222							
223							
224							
225							
226							
227							
228							
229							
230							
231							
232							
233							
234							
235							
236							
237							
238							
239							
240							
241							
242							
243							
244							
245							
246							
247							
248							
249							
250							
251							
252							
253							
254							
255							
256							
257							
258							
259							
260							
261							
262							
263							
264							
265							
266							
267							
268							
269							
270							
271							
272							
273							
274							
275							
276							
277							
278							
279							
280							
281							
282							
283							
284							
285							
286							
287							
288							
289							
290							
291							
292							
293							
294							
295							
296							
297							
298							
299							
300							
301							
302							
303							
304							
305							
306							
307							

(4)-1 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

経常収支比率の分析

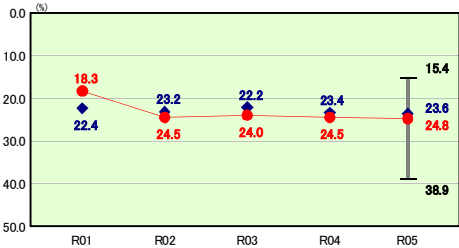
人	18,767	人(R6.1.1現在)		-	%
うち日本人	18,236	人(R6.1.1現在)		-	%
面積	45.79	km ²		12.3	%
歳入総額	9,150,845	千円	実質赤字比率	67.4	%
歳出総額	9,019,580	千円	連結実質赤字比率		
実質収支	105,278	千円	実質公債費比率		
標準財政規模	5,709,938	千円	将来負担比率		
地方債現在高	10,302,338	千円	市町村類型	R01 IV-1 R02 IV-1 R03 IV-1 R04 IV-1 R05 IV-1	(年度毎)

※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。

※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。

※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和5年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。

人件費

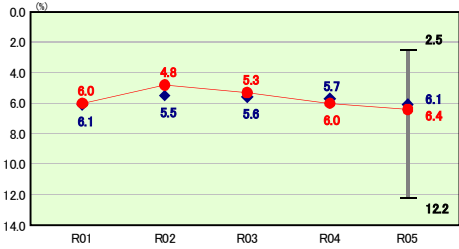


類似団体内順位 23/31 全国平均 25.5 兵庫県平均 27.9

人件費の分析欄

当町は、令和元年度までは職員数や手当の水準が類似団体平均と比較して低いために、人件費に係る経常収支比率は低くなっていた。主に、ごみ・し尿処理業務及び常備消防業務を一部事務組合や事務委託において実施しているためである。令和2年度に会計年度任用職員制度が始まり、以後類似団体と同等となっている。令和5年度は職員給が増加し、経常一般財源等歳入総額も増加したため、前年度と比べ0.3ポイント増加している。現在、第6次定員適正化計画に基づき、現数を維持しているが、今後も人件費の適正化に努めていく。

扶助費



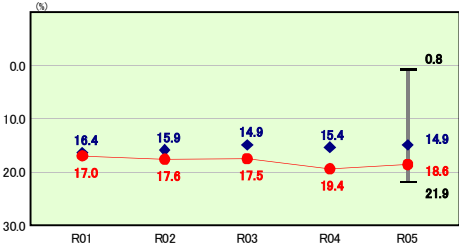
類似団体内順位 17/31 全国平均 13.2 兵庫県平均 13.6

扶助費の分析欄

当町は、類似団体平均を0.3%上回っている。

令和5年度は障害福祉サービス事業、医療費助成事業の増等により前年度に比べ0.4ポイントの増である。福崎町では、福祉基金を活用し、町単独で多くの福祉施策を実施しているが、基金が減少を続けており、事業の整理・縮小の必要がある。今後は福崎町第6次行政改革大綱・実施計画に基づき、一定の役割を終えた施策や重複する施策などは見直していく方針である。

公債費

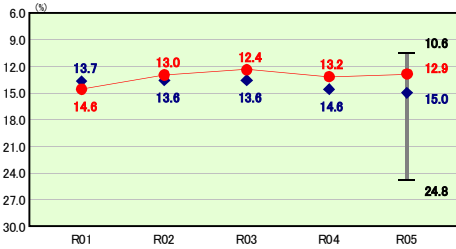


類似団体内順位 26/31 全国平均 15.9 兵庫県平均 17.9

公債費の分析欄

当町は、類似団体を3.7%上回っている。近年、幼児園建設や下水道整備、福崎駅周辺整備などの大型事業が集中したため、地方債の元利償還金が増えている。公債費総額は、臨時財政対策債の償還及び福崎駅周辺整備に伴う公共事業等債、学校施設の長寿命化事業等により償還金の増加が見込まれ、公債費の占める比率が大きくなると見込まれる。今後も、投資的経費の抑制や財政調整基金、ふるさと応援基金の活用等により、地方債の発行を抑制していく。

物件費

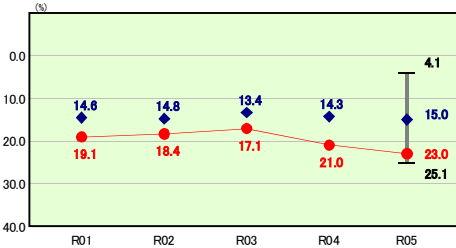


類似団体内順位 7/31 全国平均 15.2 兵庫県平均 12.6

物件費の分析欄

当町は、常備消防の姫路市への事務委託や、ごみ・し尿の処理等を一部事務組合で実施しているため、施設維持管理経費等が物件費から補助費等へ移行している。令和5年度の物件費については、新型コロナワクチン接種事業の減等により物件費全体で46百万円の減となったことにより0.3ポイント減となった。今後、電算機器の更新や行政手続の電子化等による物件費（委託料・借上料）の増加が見込まれるため、全庁的な経費削減に努める必要がある。

補助費等



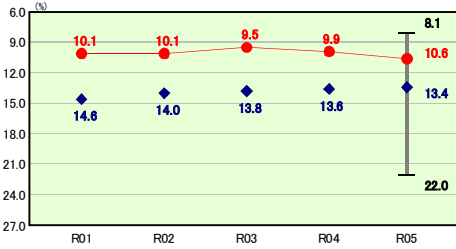
類似団体内順位 27/31 全国平均 10.7 兵庫県平均 10.2

補助費等の分析欄

当町は、類似団体平均を8.0%上回っている。要因としては、常備消防の姫路市への事務委託や、ごみ処理やし尿処理などを一部事務組合で実施しているため、その負担金が補助費等の半分以上を占めている。

令和5年度は、中播北部行政事務組合負担金の増等により前年度に比べ2.0ポイント増加している。今後、新ごみ処理施設の負担金の増加により補助費等が増加する見込みである。

その他



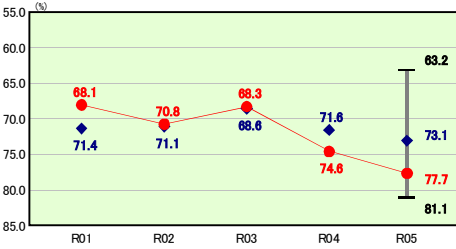
類似団体内順位 8/31 全国平均 12.6 兵庫県平均 12.6

その他の分析欄

当町は、類似団体平均を2.8%下回っている。主な要因は、下水道事業が平成28年度から法適化され、繰出金から補助費等へ移行したことによる。特別会計への繰出金については、後期高齢者医療事業特別会計への繰出金が約35百万円の増、介護保険事業特別会計への繰出金が約14百万円の増となっている。

今後、高齢化が進むにつれ、繰出金の増加が見込まれるため、適正な繰出金の支出に努める。

公債費以外



類似団体内順位 28/31 全国平均 77.2 兵庫県平均 76.9

公債費以外の分析欄

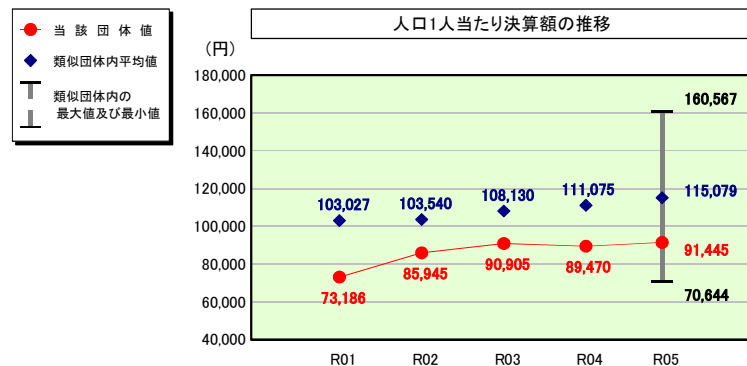
当町は、類似団体平均を4.6%上回っている。前年度に比べ3.1ポイント増加しているのは、扶助費の増（64百万円）が大きな要因である。全体の経常収支比率の変動にもよるが、公債費以外の経常収支は、電算システムの改修・更新による物件費の増加やごみ処理施設等に係る補助費等の増加により、今後は増加する見込みである。

(4)-2 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

令和5年度

兵庫県福崎町

人件費及び人件費に準ずる費用の分析



人件費及び人件費に準ずる費用

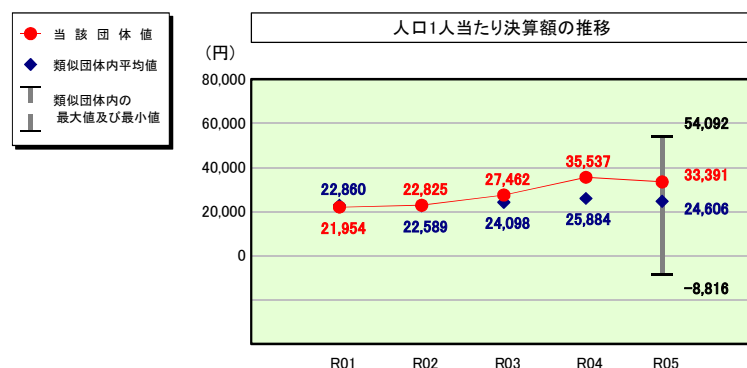
	当該団体決算額 (千円)	当該団体 (円)	人口1人当たり決算額 類似団体平均 (円)	対比 (%)
人件費	1,676,066	89,309	102,178	▲ 12.6
一部事務組合負担金(補助費等)	58,627	3,124	12,375	▲ 74.8
公営企業(法適)等に対する繰出し(補助費等)	-	-	998	-
公営企業(法適)等に対する繰出し(投資及び出資金・貸付金)	-	-	0	-
公営企業(法非適)等に対する繰出し(繰出金)	63,095	3,362	3,569	▲ 5.8
事業費支弁に係る職員の人件費(投資的経費)	16,567	883	2,201	▲ 59.9
▲退職金	▲ 98,210	▲ 5,233	▲ 6,242	▲ 16.2
合計	1,716,145	91,445	115,079	▲ 20.5

参考

	当該団体	類似団体平均	対比(差引)
人口1,000人当たり職員数(人)	6.98	9.93	▲ 2.95
ラスバイレス指数	98.6	96.1	2.5

(注) 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。

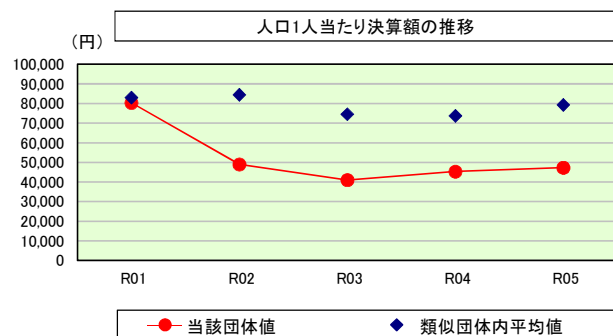
公債費及び公債費に準ずる費用の分析



公債費及び公債費に準ずる費用(実質公債費比率の構成要素)

	当該団体決算額 (千円)	当該団体 (円)	人口1人当たり決算額 類似団体平均 (円)	対比 (%)
元利償還金の額 (繰上償還額等を除く)	1,079,049	57,497	55,825	3.0
積立不足額を考慮して算定した額	-	-	10	-
満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還金に相当するもの (年度割相当額)	-	-	2	-
公営企業に要する経費の財源とする地方債の償還の財源に 充てたと認められる繰入金	360,445	19,206	20,336	▲ 5.6
一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる 補助金又は負担金	7	0	2,951	▲ 100.0
公債費に準ずる債務負担行為に係るもの	-	-	682	-
一時借入金利子 (同一団体における会計間の現金運用に係る利子は除く)	14	1	2	▲ 50.0
▲特定財源の額	▲ 6,763	▲ 360	▲ 2,058	▲ 82.5
▲地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として 普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額	▲ 806,104	▲ 42,953	▲ 53,145	▲ 19.2
合計	626,648	33,391	24,606	35.7

(参考) 普通建設事業費の分析



普通建設事業費

	当該団体決算額 (千円)	当該団体 (円)	増減率 (%) (A)	人口1人当たり決算額 類似団体平均 (円)	増減率 (%) (B)	(A)-(B)
R01	1,543,855	80,388	▲ 10.0	83,103	▲ 13.8	3.8
うち単独分	664,006	34,575	11.7	41,378	3.7	8.0
R02	931,396	49,023	▲ 39.0	84,459	1.6	▲ 40.6
うち単独分	442,322	23,281	▲ 32.7	47,314	14.3	▲ 47.0
R03	774,639	41,080	▲ 16.2	74,568	▲ 11.7	▲ 4.5
うち単独分	445,486	23,624	1.5	42,558	▲ 10.1	11.6
R04	850,351	45,362	10.4	73,693	▲ 1.2	11.6
うち単独分	348,713	18,602	▲ 21.3	44,203	3.9	▲ 25.2
R05	887,570	47,294	4.3	79,401	7.7	▲ 3.4
うち単独分	425,002	22,646	21.7	49,347	11.6	10.1
過去5年間平均	997,562	52,629	▲ 10.1	79,045	▲ 3.5	▲ 6.6
うち単独分	465,106	24,546	▲ 3.8	44,960	4.7	▲ 8.5

(5)市町村性質別歳出決算分析表(住民一人当たりのコスト)

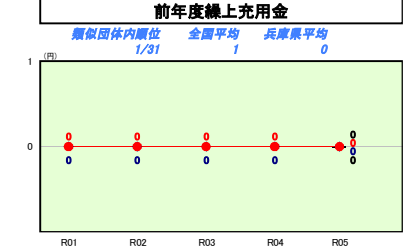
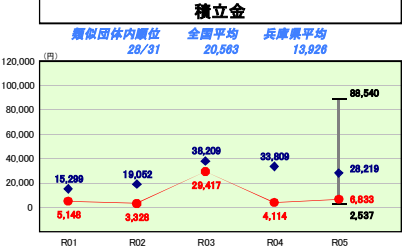
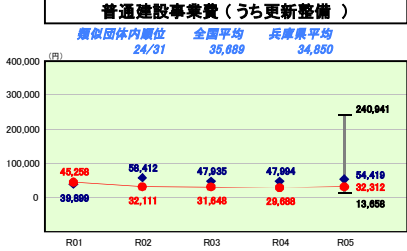
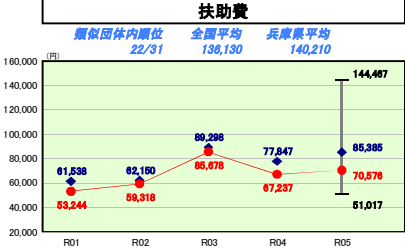
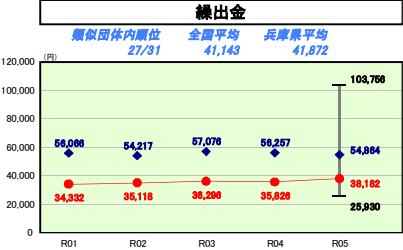
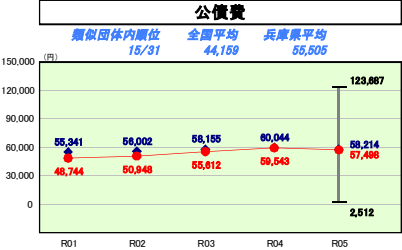
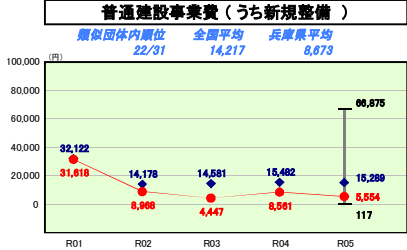
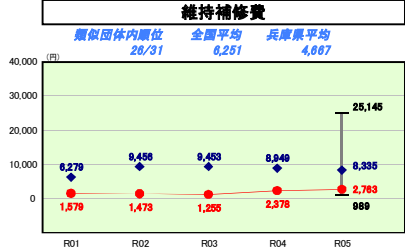
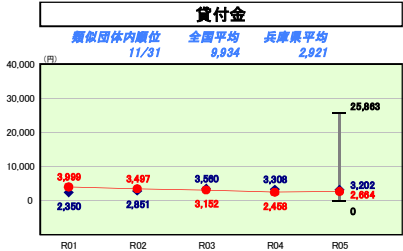
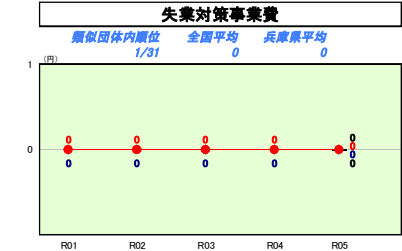
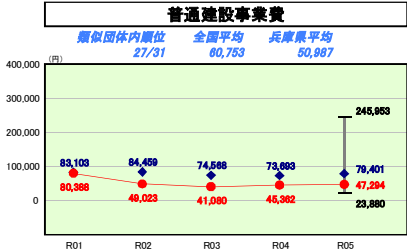
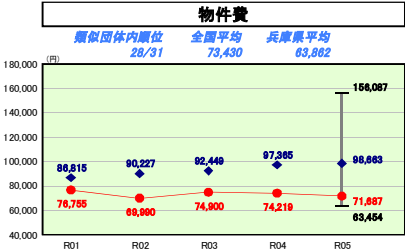
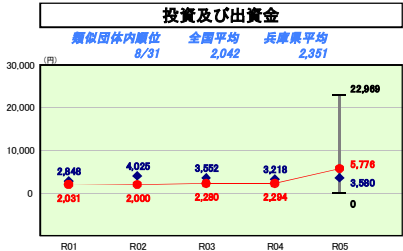
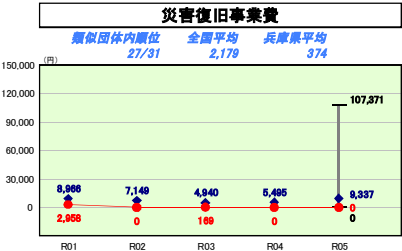
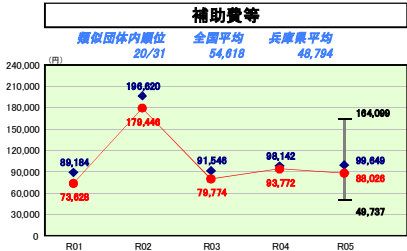
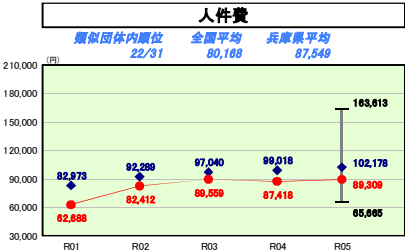
令和5年度

兵庫県福崎町

人口	18,767人(第1.1順位)	実質赤字比率	-%
うち日本人	18,236人(第1.1順位)	通算実質赤字比率	-%
面積	45.79km ²	実質公債費比率	12.3%
歳入総額	9,150,845千円	実質負担比率	67.4%
歳出総額	9,019,580千円	市町村類型	R01Ⅳ-1 R02Ⅳ-1 R03Ⅳ-1
実質収支	105,278千円	(年度毎)	R04Ⅳ-1 R05Ⅳ-1
標準財政規模	5,709,938千円		
地方債現在高	10,302,338千円		



※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。
※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和5年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



性質別歳出の分析圖

歳出決算総額は、住民一人当たり480,609円となっている。人件費は、住民一人当たり89,309円となっており、会計年度任用職員報酬・手当の増により前年度より1,891円増加、類似団体平均より12,869円低く推移している。物件費は住民一人当たり71,687円で、類似団体平均より低く推移している。新型コロナワクチン接種委託料等の減により、前年度より2,532円減少している。扶助費は住民一人当たり70,576円となっており、類似団体平均より低く推移している。低所得世帯支援臨時給付金給付事業等の増により、前年度より3,339円増加している。補助費等は、住民一人当たり88,026円となっており、類似団体平均より11,623円低くなっている。地域活性化商品券事業等の減により、前年度より5,746円減少している。普通建設費は、住民一人当たり47,294円となっており、小学校トイレ改修事業等の増により、前年度より1,932円増加している。新規整備は中学校トイレ改修事業等の減で前年度より3,007円減少、更新整備は体育館床張替事業等の増で2,624円増加している。災害復旧費は、事業なし。公債費は、住民一人当たり57,498円で、類似団体平均と同程度となっており、減少に転じている。積立金は、類似団体平均を大幅に下回っている。令和5年度は、減価調整基金積立金が28百万円増加したため、前年度より2,719円増加している。投資及び出資金は、水道事業会計出資金等の増により、前年度より3,482円増加している。貸付金は、中小企業振興資金融資預託金が4百万円増加したため、前年度より206円増加している。繰出金は、後期高齢者医療事業特別会計への繰出金が約35百万円の増、介護保険事業特別会計への繰出金が約14百万円の増となったため前年度から2,356円増加している。

(6)市町村目的別歳出決算分析表(住民一人当たりのコスト)

令和5年度

兵庫県福崎町

人	18,767	人(第1.1期在)	実	質	赤	字	比	率	-	%				
うち日本	18,236	人(第1.1期在)	通	算	実	質	赤	字	比	%				
口人	45.79	km ²	実	質	公	債	費	比	率	12.3	%			
面積	9,150,845	千円	実	質	負	担	比	率	67.4	%				
歳入	9,019,580	千円	市	町	村	類	型		R01	Ⅳ-1	R02	Ⅳ-1	R03	Ⅳ-1
歳出	105,278	千円	(	年	度	毎	)		R04	Ⅳ-1	R05	Ⅳ-1		
実質収支	5,709,938	千円												
標準財政規模	10,302,338	千円												
地方債現在高														

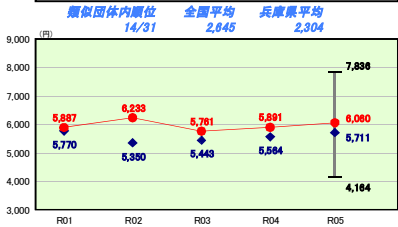


※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。

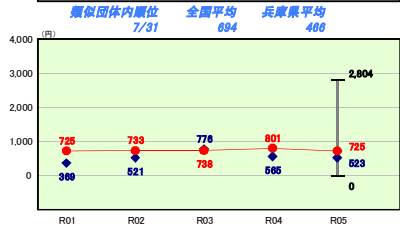
※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。

※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和5年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。

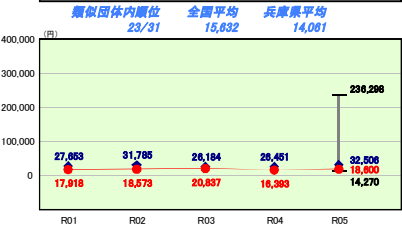
議会費



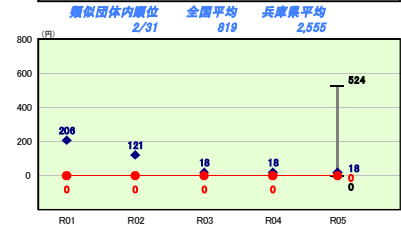
労働費



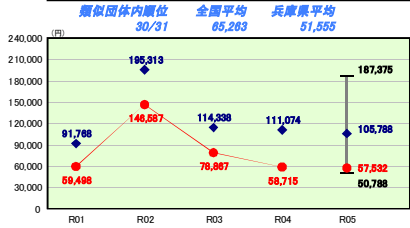
消防費



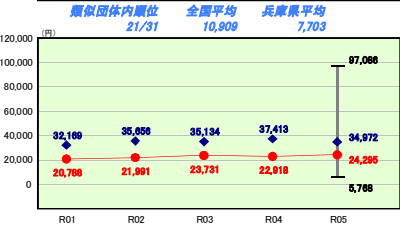
諸支出金



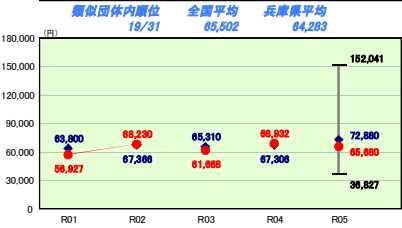
総務費



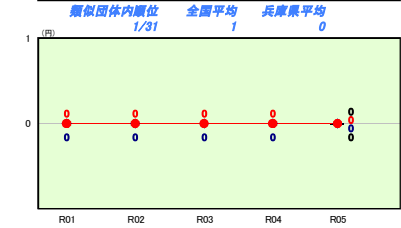
農林水産業費



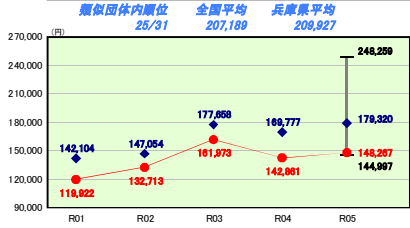
教育費



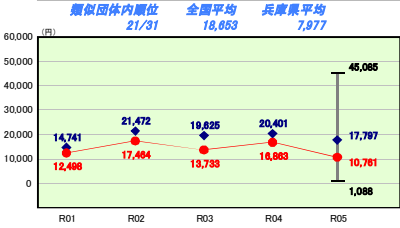
前年度繰上充用金



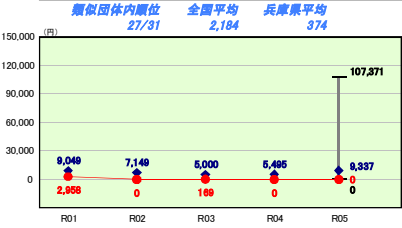
民生費



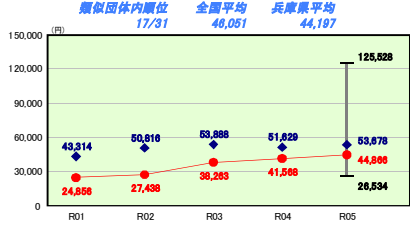
商工費



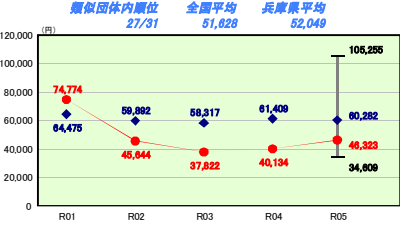
災害復旧費



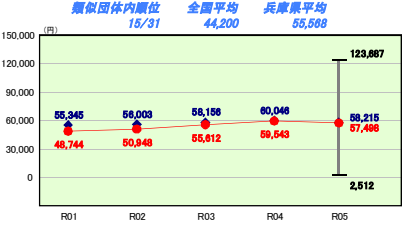
衛生費



土木費



公債費



目的別歳出の分析圖

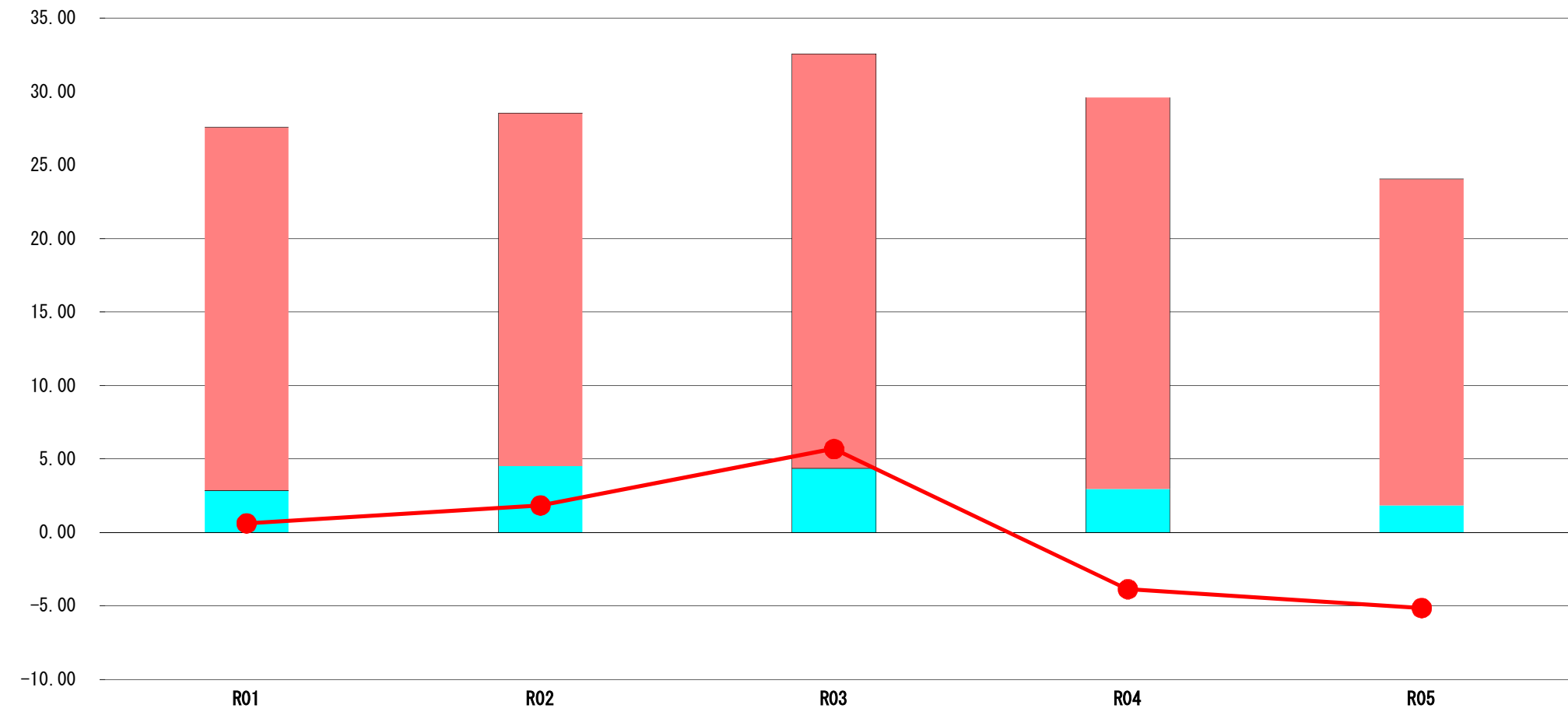
議会費は、住民一人当たり6,060円となっており、類似団体を上回っている。平成25年4月より議員定数が16人から14人となっている。議員期末手当の増のため、前年度より169円増加している。総務費は、住民一人当たり57,532円となっており、類似団体平均より低くなっている。エルデホール照明設備改修工事費等の減により前年度から1,183円減少している。民生費は、住民一人当たり148,267円となっており、類似団体平均より低くなっている。低所得世帯支援給付金給付事業の増及び低所得世帯支援臨時給付金給付事業の増により前年度から5,406円増加している。衛生費は、住民一人当たり44,866円となっており、類似団体平均より低くなっている。前年度から3,298円増加しているのは、中津北都行政事務組合負担金の増が主な要因である。農林水産業費は、住民一人当たり24,295円となっており、類似団体平均より低くなっている。前年度から1,377円増加しているのは、高岡・福田地区ほ場整備推進事業の増及び下水道事業会計（農業）負担金・補助金・出資金の増が主な要因である。商工費は、住民一人当たり6,102円減少しているのは、前年度から6,102円減少しているのは、電力・ガス・食料品等価格高騰対策事業の減が主な要因である。土木費は、住民一人当たり46,323円となっており、類似団体平均より下回っている。前年度から2,207円増加したのは、消防設備整備費負担金及び消防用ポンプ等購入費の増が主な要因である。教育費は、住民一人当たり65,680円となっており、類似団体平均より下回っている。前年度から3,252円減少しているのは、中学校トイレ改修事業等の減が主な要因である。公債費は、住民一人当たり57,498円となっており、類似団体を下回っている。前年度から2,045円減少しているのは、一般単独事業債及び学校教育施設等整備事業債、財源対策債が減少したのが主な要因である。

(7) 実質収支比率等に係る経年分析（市町村）

令和5年度

兵庫県福崎町

標準財政規模比（％）



標準財政規模比（％）

区分	年度	R01	R02	R03	R04	R05
財政調整基金残高		24.73	24.02	28.22	26.65	22.21
実質収支額		2.85	4.52	4.36	2.96	1.84
実質単年度収支		0.63	1.84	5.69	▲ 3.87	▲ 5.14

分析欄

○財政調整基金残高・・・令和5年度は233百万円取崩したため、前年度比4.44ポイント減の22.21%となった。

○実質収支（額）比率・・・令和5年度は形式収支の減により実質収支額が減少したため、前年度比1.12ポイント減の1.84%となった。

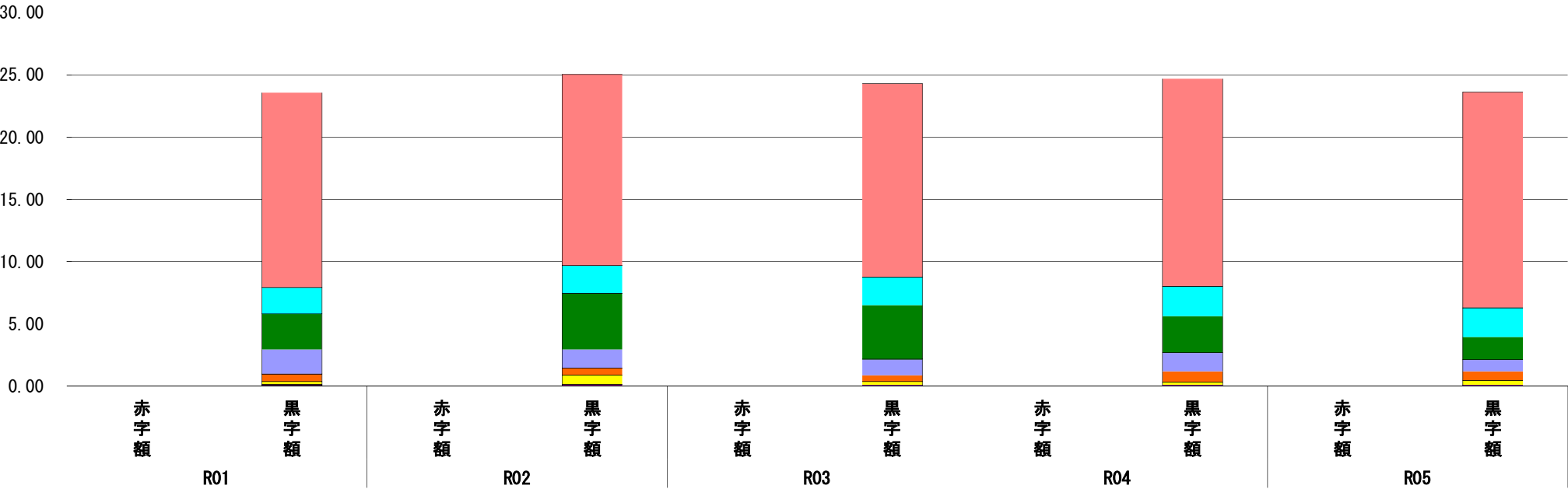
○実質単年度収支・・・令和5年度は実質収支額の減及び財政調整基金の取崩しにより単年度収支で62百万円の赤字、財政調整基金積立・取崩しを含めた実質単年度収支では294百万円の赤字となり、標準財政規模比は、前年度比1.27ポイント減の▲5.14%となった。

(8) 連結実質赤字比率に係る赤字・黒字の構成分析（市町村）

令和5年度

兵庫県福崎町

標準財政規模比（％）



標準財政規模比（％）

年度		R01	R02	R03	R04	R05
会計						
水道事業会計		15.66	15.38	15.56	16.70	17.37
工業用水道事業会計		2.13	2.22	2.26	2.40	2.34
一般会計		2.85	4.51	4.35	2.96	1.84
下水道事業会計		1.98	1.50	1.29	1.48	0.91
介護保険事業		0.60	0.56	0.51	0.86	0.74
国民健康保険事業		0.23	0.76	0.25	0.21	0.34
後期高齢者医療事業		0.10	0.12	0.11	0.11	0.11
介護サービス会計		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他会計（赤字）		-	-	-	-	-
その他会計（黒字）		0.03	0.00	0.00	-	-

分析欄

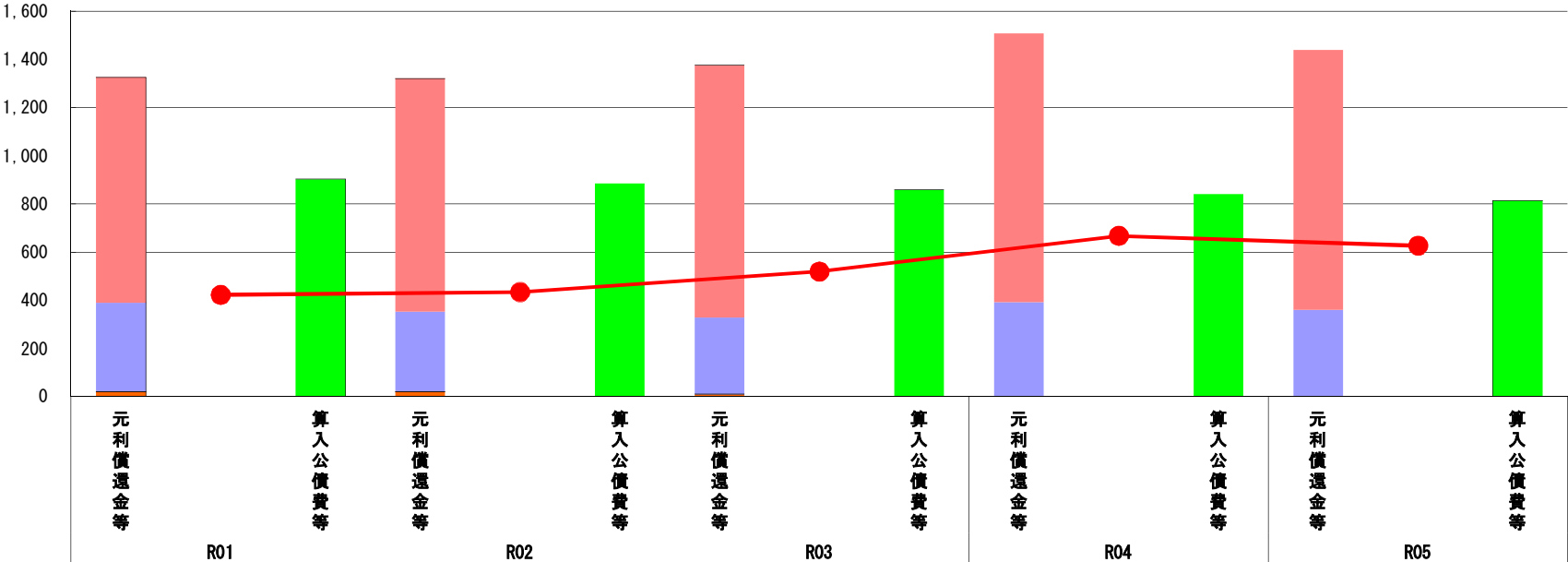
○水道事業会計・・・平成14年度に料金改定を行って以降、安定した実質収支比率となっている。
○一般会計・・・近年、2%～4%台の範囲内で推移しており、令和3年度までは良好な財政運営を行っていたが、令和4年度以降、黒字額が減少してきている。
○工業用水道会計・・・企業へ工業用水を供給しているため、安定した収益により実質収支比率1%～2%台で推移しており良好な運営となっている。
○下水道事業会計・・・一般会計からの補助金、負担金、出資金により安定した実質収支比率となっていたが、基金がなくなり令和5年度は黒字額が減少している。
○国民健康保険、介護保険、後期高齢者医療事業・・・事務費、人件費等を一般会計からの繰入れによって運営しているため、0%台で推移している。

(9) 実質公債費比率（分子）の構造（市町村）

令和5年度

兵庫県福崎町

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	R01	R02	R03	R04	R05
元利償還金等 (A)	元利償還金		936	968	1,049	1,116	1,079
	減債基金積立不足算定額※2		-	-	-	-	-
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額		-	-	-	-	-
	公営企業債の元利償還金に対する繰入金		369	332	317	392	360
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等		20	20	11	-	0
	債務負担行為に基づく支出額		-	-	-	-	-
	一時借入金の利子		0	0	0	0	0
算入公債費等 (B)			903	886	858	841	813
(A) - (B)		実質公債費比率の分子	422	434	519	667	626

分析欄
○元利償還金・・・臨時財政対策債の元利償還金が増加し続けていたが、令和5年度は学校教育施設等整備事業債が減少したため元利償還金が増加した。 ○公営企業債の元利償還金に対する繰入金・・・下水道事業の減少により、前年度より32百万円減少した。 ○組合等が起こした地方債の元利償還金に対する繰入金・・・平成28年度から令和3年までは中播衛生事務組合の償還のみとなっていたが令和4年度以降は償還が終了したため該当なしとなっている。 ○算入公債費等・・・災害復旧費等に係る基準財政需要額は臨時財政対策債の増により年々増加傾向にあるが、事業費補正に係る公債費は下水道資本平準化債の借入による算入公債費の減や算入終了公債費の増により減少傾向にあり、算入公債費等全体では前年度から28百万円の減少となっている。 ○実質公債費比率の分子・・・算入公債費等と一般会計等の元利償還金が増加したため、実質公債費比率の分子は前年度より41百万円の減となった。

※ 減債基金積立不足算定額=(C) × (1 - (D) / (E))

(参考)		年度	R01	R02	R03	R04	R05
減債基金積立状況等 (注)	満期一括償還地方債に係る実質償還額又は理論償還額のいずれか少ない額 (C)						
	前年度末減債基金残高 (D)						
	前年度末減債基金積立相当額 (E)						

(注) 減債基金のうち、実質公債費比率の算定に用いる満期一括償還地方債の償還の財源に係るもののみを記入。

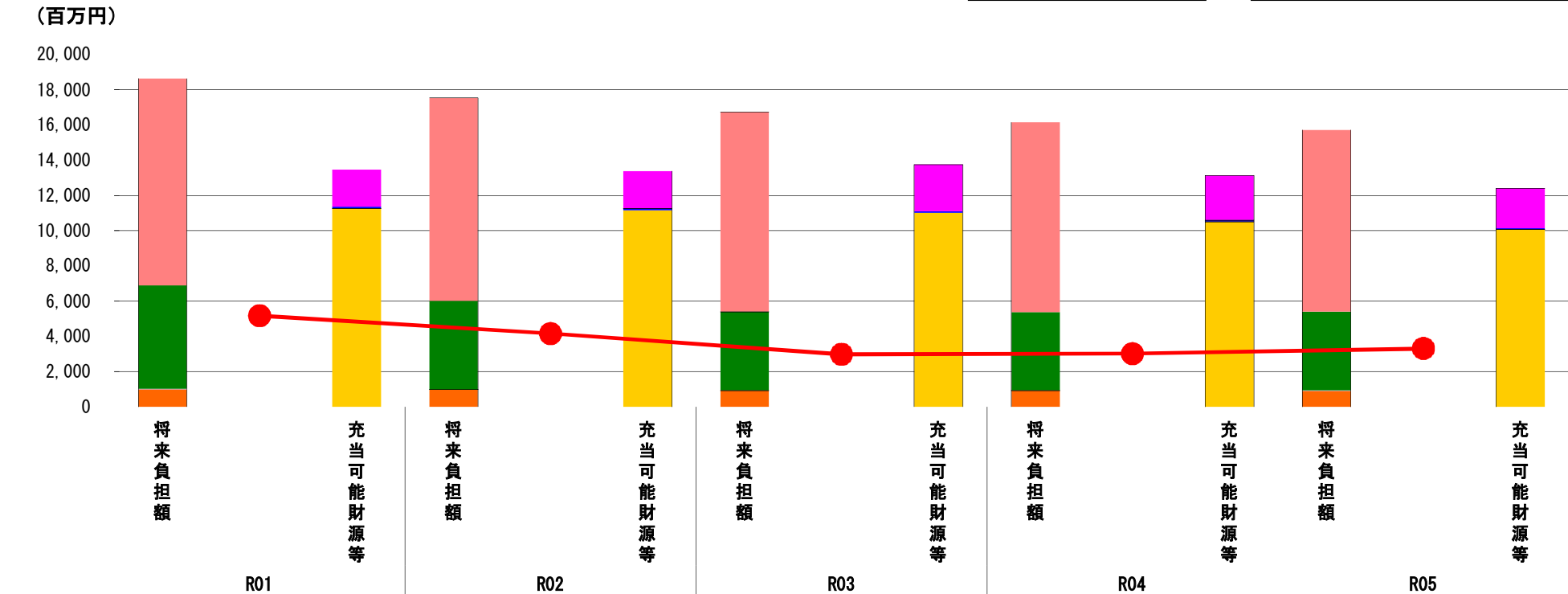
減債基金積立金の年度を超えた一般会計又は特別会計への貸付額は控除して記入。

分析欄

(10) 将来負担比率（分子）の構造（市町村）

令和5年度

兵庫県福崎町



分子の構造		年度				
		R01	R02	R03	R04	R05
将来負担額 (A)	一般会計等に係る地方債の現在高	11,736	11,513	11,349	10,777	10,302
	債務負担行為に基づく支出予定額	-	-	-	-	-
	公営企業債等繰入見込額	5,871	5,039	4,456	4,454	4,471
	組合等負担等見込額	30	11	-	-	33
	退職手当負担見込額	997	965	926	915	901
	設立法人等の負債額等負担見込額	-	-	-	-	-
	うち、健全化法施行規則附則第三条に係る負担見込額	-	-	-	-	-
	連結実質赤字額	-	-	-	-	-
	組合等連結実質赤字額負担見込額	-	-	-	-	-
充当可能財源等 (B)	充当可能基金	2,093	2,116	2,644	2,537	2,256
	充当可能特定歳入	104	106	103	86	70
	基準財政需要額算入見込額	11,267	11,148	11,005	10,502	10,073
(A) - (B)		5,171	4,158	2,981	3,021	3,309

分析欄

○一般会計等に係る地方債の現在高・・・防災・減災・国土強靱化緊急対策事業債、学校教育施設等整備事業債等により年々増加している。令和5年度は臨時財政対策債の新規発行額より元利償還金が336百万円多かったため前年度より475百万円減少している。

○公営企業債等繰入見込額・・・下水道事業の減少により平成27年度から減少に転じている。

○組合等負担等見込額・・・令和2年度で中播磨生事務組合の償還が終了したため、令和3年度から該当なしとなっている。

○退職手当負担見込額・・・退職入替により減少している。

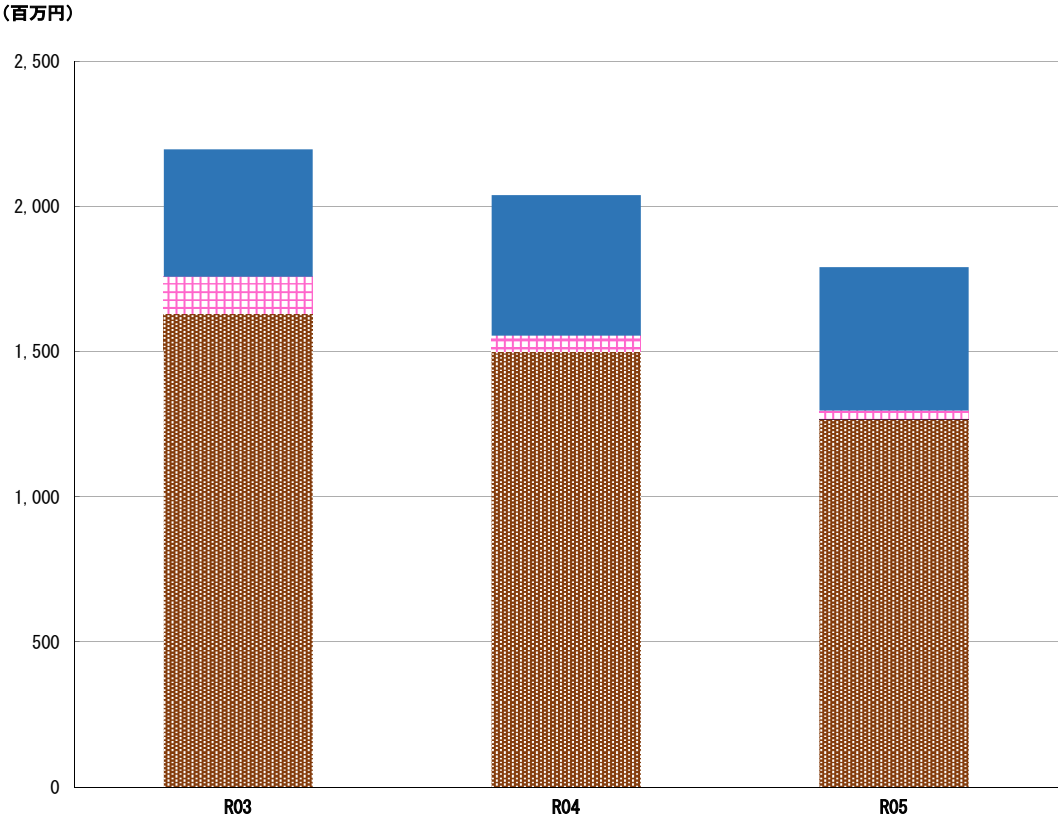
○充当可能基金・・・財政調整基金を233百万円取崩したため、令和5年度は減少している。

○充当可能特定収入・・・公営住宅使用料である。令和5年度は減少している。

○基準財政需要額算入見込額・・・臨時財政対策債、下水道事業債の増加により年々増加していたが、基準財政需要額算入終了の公債費が増加しているため、平成29年度以降は減少に転じている。

○将来負担比率の分子・・・地方債現在高、公営企業等繰入見込額、組合負担等見込額及び退職手当見込額の減により年々減少してきているが、令和5年度は充当可能金額、基準財政需要額算入見込額の減により増加した。

(11) 基金残高（東日本大震災分を含む）に係る経年分析（市町村）



		(百万円)		
区分	年度	R03	R04	R05
財政調整基金		1,633	1,500	1,268
減債基金		125	56	29
其他特定目的基金		439	483	494
ふるさと応援基金		249	297	328
大規模開発区域環境保全基金		41	41	39
交通安全対策基金		35	31	28
農業農村活性化基金		28	30	27
環境保全基金		25	25	25
基金残高合計		2,197	2,039	1,791

令和5年度	兵庫県福崎町
基金全体 (増減理由) 財政調整基金に1百万円、減債基金に29百万円、ふるさと応援基金に88百万円、森林環境譲与税基金に7百万円積立てた一方、財政調整基金233百万円、減債基金56百万円、福祉基金11百万円、農業農村活性化基金4百万円、交通安全対策基金4百万円、ふるさと応援基金58百万円取崩したことにより、基金全体としては248百万円の減となった。 (今後の方針) 財政調整基金の一定額を確保するとともに、ふるさと応援寄附金の増加に努め、基金を活用した事業を実施していく。	
財政調整基金 (増減理由) 歳入の余剰がなかったことにより、令和5年度は利子分のみを積立し、233百万円の取崩を行った。 (今後の方針) 財政調整基金の残高は、災害への備え等のため、標準財政規模の20%(10億円程度)の範囲となるように努める。	
減債基金 (増減理由) 令和5年度に地方交付税の財政対策償還基金費分の増により、28,987百万円の積立てを行ったが、令和5年度は公債費に充当のため56百万円取崩した。 (今後の方針) 公債費に充当のため、令和6年度に29百万円を取り崩す予定である。	
其他特定目的基金 (基金の使途) - 福祉基金：すこやかな長寿社会に備え、福祉活動の活性化と、総合的な福祉の振興、充実を図るため - 農業農村活性化基金：農業に関する各種公益事業の隆盛を図ると共に、輪作農法の推進と地域営農集団及び担い手農家の育成を通じ、農業農村の活性化と農村文化の向上に資するため - ふるさと応援基金：民俗学の父柳田國男やその兄弟の偉業を顕彰し後世に伝える事業、大庄屋三木家住宅の保存整備・活用に関する事業、次代を担う子どもたちの教育やその環境整備に関する事業、健康福祉・安全安心・産業振興などまちの発展、充実に資する事業を推進するため - 大規模開発区域環境保全基金：大規模開発区域及び周辺の良い環境を保全するため - 交通安全対策基金：交通安全対策に関する意識の高揚及び交通安全施設の整備に資するため (増減理由) 基金の目的に応じた事業に、福祉基金11百万円、農業農村活性化基金4百万円、大規模開発区域環境保全3百万円、観光振興基金3百万円、ふるさと応援基金58百万円、交通安全対策基金4百万円取崩した一方で、ふるさと応援基金に88百万円、森林環境譲与税基金に7百万円積立てたこと等により、其他基金全体としては11百万円の増加となった。 (今後の方針) 福祉基金、農業農村活性化基金については、基金がなくなった後の基金対象事業の見直しを検討する必要がある。	